

子育てサロン（2014年度）

2014年度は4回（4月、6月、10月、1月）実施しました。

【第18回子育てサロン】 ゲストなし

2015年1月22日（木）に、第18回子育てサロンを開催しました。
参加者は8名でした。



【第17回子育てサロン】 ゲストあり

第17回子育てサロンは本学の生活科学部教授の榊原洋一先生を
ゲストにお招きし、2014年10月23日（木）12:10～13:20に
大学本館生活科学部会議室にて行いました。

参加者は22名であり、「子育て 三大噺」として、榊原先生が
ご用意くださった多彩なテーマの中から参加者が聞きたいと思う
テーマを選ぶというこれまでにない方式で行いました。

今回は、特に要望の多かった「生活リズム」と「おむつ外し」
についてお話しいただきました。「生活リズム」については、
睡眠時間とリズムの確保が大切であること、「おむつ外し」では、
トレーニングのタイミングなど大変興味深いお話を伺うことが
できました。

参加者の皆さんからは「とても分かりやすく、最新の研究内容なども紹介して下さい、とても有意義でした。」、「大人の側の視点ではなく、子ども側からの視点が新しく、思いやりにあふれる印象を受けました。」など、大変好評でした。

榊原先生には是非とも第2弾としてお話いただきたいと考えています。



【第16回子育てサロン】ゲストなし

2014年6月26日(木)に、第16回子育てサロンを開催しました。

今回は6月23日～29日の男女共同参画週間中に「家事場のパパヂカラ」というテーマで話し合いました。

参加者は11名であり、父親の育児・家事参加について様々な意見・感想が飛び出し、大いに盛り上がりました。

参加者からは、「毎回、和やかな楽しい雰囲気、先輩ママから育児のアドバイスをいただけて、とても有意義でした」、「子育て中の疑問について、同じ内容でも、他の方の意見が聞けてとても参考になりました」などの意見をいただき、学内の子育てネットワークも強固なものになりつつあることを実感できました。



【第15回子育てサロン】ゲストあり

2014年4月15日（火）12:10より、本館122室にて第15回子育てサロンを開催しました。今回は石井クンツ昌子先生（本学生活科学部教授）をはじめ、石井研究室の皆様をゲストにお招きし、石井研究室と博報堂こそだて家族研究所パパチームの共同研究プロジェクトで行った研究成果について、「キャラクター活用による親子関わりへの影響」と題してお話しいただきました。

初めに、石井先生より今回の研究について簡単にご説明いただき、その後、都内の子育てカフェで開催された国産畜産物のキャンペーン「おにくだいすき！ゼウシ君」のイベントに参加した親子を観察した結果について以下の5つの視点で石井研究室の皆様にご紹介いただきました。発表内容を簡単にご紹介します。（カッコは発表者）

・先行研究(文献)からの考察 （大学院博士後期課程 岡村利恵さん）

⇒子どもの食生活に関する意識が高まっていること、キャラクターが子供とのコミュニケーションツールとなることがわかった。

・子どもから親への影響 （生活科学部4年 肥塚早紀さん）

⇒子どもの年齢、キャラクターの受け入れ方によって、子どもから親への発信が異なること、子どもがキャラクターに強い関心を示すほど子どもから親への働きかけは多くみられることが明らかとなった。

・母親から子どもへの影響（生活科学部 4年 横田紗希さん）

⇒キャラクターの存在により母親から子どもへの笑顔、話しかけ、スキンシップが増加することや、キャラクターに様々な反応を示す子どもには比較的好きなようにさせることが明らかとなった。

・父親から子どもへの影響（生活科学部 4年 上村美悠さん）

⇒キャラクターに対して子どもが負の反応（泣く、驚くなど）を示した場合、父親が抱き上げるなどして慰めることが明らかとなった。

・夫婦間に与える影響（生活科学部 4年 金成理沙さん）

⇒夫婦間において笑顔や会話が増え、キャラクターが夫婦間のコミュニケーションツールとしての役割を果たすこと、普段の生活では発見できないわが子の興味関心について知ることができることが明らかとなった。

最後に石井先生より、キャラクターは父子・母子間のコミュニケーションを促進し、ゲームやおやつタイムなどと組み合わせることによりキャラクターのインパクトは増大する、とのまとめをいただきました。

今回の子育てサロンは、30名と会場が満席になるほどの参加者数となり、男性の参加者もこれまで以上に多くみられました。

参加者からは「興味深い内容でした。今後父親の育児参加についてさらに伺いたいです」、

「もう少し大きくなったら、家族で（子&父）キャラクターのイベントに参加してみようと思いました。」などの声をいただき、大好評のうちに終了しました。

